ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年１２月）

1　内政

（1）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	64名	547,631名	0名	5,828名	540,742名
2日	66名	547,697名	1名	5,829名	540,781名
3日	75名	547,772名	0名	5,829名	540,832名
4日	69名	547,841名	0名	5,829名	540,879名
5日	50名	547,891名	0名	5,829名	540,991名
6日	71名	547,962名	0名	5,829名	541,054名
7日	99名	548,061名	0名	5,829名	541,146名
8日	89名	548,150名	0名	5,829名	541,243名
9日	83名	548,233名	0名	5,829名	541,293名
10日	115名	548,348名	1名	5,830名	541,338名
11日	59名	548,407名	0名	5,830名	541,407名
12日	48名	548,455名	0名	5,830名	541,509名
13日	115名	548,570名	0名	5,830名	541,573名
14日	133名	548,703名	0名	5,830名	541,639名
15日	97名	548,800名	0名	5,830名	541,714名
16日	165名	548,965名	0名	5,830名	541,783名
17日	120名	549,085名	0名	5,830名	541,833名
18日	122名	549,207名	0名	5,830名	541,904名
19日	66名	549,273名	0名	5,830名	542,003名
20日	105名	549,378名	0名	5,830名	542,092名
21日	170名	549,548名	0名	5,830名	542,175名
22日	131名	549,679名	0名	5,830名	542,290名
23日	165名	549,844名	0名	5,830名	542,349名
24日	225名	550,069名	0名	5,830名	542,397名
25日	57名	550,126名	0名	5,830名	542,512名
26日	20名	550,146名	0名	5,830名	542,645名
27日	73名	550,219名	0名	5,830名	542,742名
28日	100名	550,319名	1名	5,831名	542,907名
29日	69名	550,388名	0名	5,831名	543,027名
30日	134名	550,522名	1名	5,832名	543,149名
31日	82名	550,604名	0名	5,832名	543,215名

（ア） １０日、ベネズエラ国際輸送展示会に参加したテイセイラ・ベネズエラ航空当局（INAC）長官は、ベネズエラ到着時に空港で実施されているＰＣＲ検査が２０２３日１月１日以降、廃止される旨発言した。

（イ） ３１日をもって、当地到着時に空港で実施されていたPCR検査が廃止された。

（２） 与野党対話関係

（ア） １日、体制側国会は、メキシコで署名された与野党間の第２回部分的合意を全会一致で承認した。

（イ） １１月３０日の記者会見にて、今後野党各党との対話の場を設けると述べたマドゥーロ大統領は２日、民主同盟（Alianza Democrática）（体制側）との会合を実施した。同会合後、政府及び民主同盟は３０日以内に優先事項のアジェンダを確定する旨発表した。

（ウ） １６日、マドゥーロ大統領は、Fuerza Vecinal 党関係者と会合を実施した。同会合後 Fuerza Vecinal 党はメキシコで署名された第２回部分的合意への支持を表明した。

（エ） ３１日、ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、与野党によるメキシコで署名された第２回部分合意の履行をもってはじめて、次回の与野党対話に臨む旨発言した。

（３） 野党予備選挙に向けた動き

（ア） １２日、予備選挙委員会の第１回活動報告会が実施された。

（イ） １４日、予備選挙委員会は、予備選挙地方評議会評議員の候補者募集を３０日まで延長する旨発表した。

（ウ） １５日、予備選挙委員会は、全国選挙委員会（CNE）と会合を実施し、投票所の使用許可並びに有権者登録更新を要請した。

（エ） ３０日、予備選挙委員会は、予備選挙地方評議会評議員の候補者募集を１月８日まで延長する旨発表した。

（４） ２０１５年選出国会の動き

（ア） １６日、グアイド氏は、政権移行法改正審議を行うため、２２日に２０１５年選出国会を召集する旨発表した。

（イ） ２２日、２０１５年選出国会は、政権移行法改正に関する第１回目審議を実施し、暫定大統領府及び２０１５年選出国会の継続を提案する大衆意志党（VP）の法案を退け、暫定大統領府の廃止及び２０１５年選出国会の継続を提案する法案を可決した。

（ウ） ２６日、Encuentro Ciudadano 党、ベネズエラ計画党、NUVIPA 党は、共同コミュニケを通じて、政権移行法改正に関する野党間での合意形成を行うため、他党との対話を進める旨表明した。

（エ） ２７日、民主行動党（AD）、正義第一党（PJ）、新時代党（UNT）及びベネズエラ革新運動党（MPV）は、共同コミュニケを通じて、政権移行法改正にかかる立場説明を行い、第２回目審議において引き続き、暫定大統領府の廃止を求めてゆく旨表明した。

（オ） ２８日、２０１５年選出国会は、２９日に予定されていた第２回目審議を１月３日に延期する旨発信した。右発信に対して、AD、PJ、UNT は相次いで反対を表明し、第２回目審議は予定通り２９日に実施されると主張した。

（カ） ２９日、２０１５年選出国会は、第２回目の審議を３０日に実施する旨発信した。

（キ） ３０日、２０１５年選出国会は、政権移行法改正に関する第２回目の審議を実施し、暫定大統領府の廃止を

定めた法案が可決された。右採択にともない、１月５日以降は２０１５年選出国会のみが継続される。

（５） その他

（ア） １２日、マドゥーロ大統領は、マイアミからの為替攻撃に立ち向かうため、公式レートを使用するよう呼びかけた。

２ 外交

（１） ファリア外相の赤道ギニア訪問

（ア） ８日、ファリア外相は、オビアン・ンゲマ赤道ギニア大統領の就任式に参加した。

（イ） ９日、ファリア外相は、オビアン・ンゲマ赤道ギニア大統領と南南関係の強化に関し、会談を実施した。

（ウ） ９日、ファリア外相は、オヨノ赤道ギニア外相と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（エ） ９日、ファリア外相は、オビアン・リマ赤道ギニア鉱物・炭化水素相と、国際機関における協力関係及びPDVSA・GEPETROLの科学技術協力・貿易関係の強化に関し、会談を実施した。

（２） 第１６回ロシア・ベネズエラ政府間ハイレベル委員会

（ア） １２日、ヒル・ヨーロッパ担当外務次官は、シェティニ露外務省ラテンアメリカ局長と、戦略的協力分野の見直しに関し、会談を実施した。

（イ） １２日、ペニャ・ラテンアメリカ・カリブ担当外務次官は、シェティニ露外務省ラテンアメリカ局長と、両国の置かれた地政学的状況に関し、意見交換を行った。

（ウ） １３日、ファリア外相は、シェティニ露外務省ラテンアメリカ局長と、作業アジェンダの見直し及び国連憲章を擁護するフレンズグループの強化に関し、会談を実施した。

（エ） １３日、ヒル・ヨーロッパ担当外務次官とシェティニ露外務省ラテンアメリカ局長は、基調講演会「ロシア―現代世界のビジョンーロシア・ラテンアメリカ関係及びベネズエラとの戦略的協力」を開催した。

（オ） １４日、ファリア外相は、ノバク露副首相をヘッドとする露代表団を出迎えた。

（カ） １４日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、ノバク露副首相と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。電力共同事業の推進、及びベネズエラに課された一方的強制措置に関するロシア側の確固たるベネズエラ支援の姿勢が表明された。

（キ） １４日、第１６回ロシア・ベネズエラ政府間ハイレベル委員会の枠組で、両国は、麻薬取締り保健関連分野における協力をはじめとした１１の合意文書に署名を行った。

（３） 第２２回米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA－TCP）首脳会議

（ア） １４日、マドゥーロ大統領は、ハバナに到着した。

（イ） １４日、マドゥーロ大統領は、ディアスカネル・キューバ国家評議会議長、アルセ・ボリビア大統領、オルテガ・ニカラグア大統領、ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相、スケリット・ドミニカ国首相、ミッチェル・グレナダ首相らと共に、ALBA－TCP設立１８周年を記念する人民権力全国議会特別会合に参加し、演説を行った。

（ウ） １４日、マドゥーロ大統領は、第２２回ALBA－TCP首脳会議に参加した。

（エ）　１４日、マドゥーロ大統領は、アルセ・ボリビア大統領と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（オ）　１４日、プラセンシア駐コロンビア・ベネズエラ大使が、ALBA－TCP 新事務局長に任命された。

（カ）　１４日、マドゥーロ大統領は、ペルー国民及びカスティージョ・ペルー大統領の権利を尊重するイニシアティブを ALBA－TCP が擁護する旨表明し、平和的・民主的解決に向けたラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)が果たしうる役割について言及した。

（キ）　１４日、今後の一層の関係強化を軸とした、２２項目からなる第２２回 ALBA－TCP 首脳会議宣言が採択された。

（４）　ナンディ＝ンダイトワ・ナミビア副首相兼国際関係・協力大臣の来訪

（ア）　１８日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、ナンディ＝ンダイトワ・ナミビア副首相兼国際関係・協力大臣を出迎えた。

（イ）　１９日、ファリア外相及びデルシー・ロドリゲス副大統領は各々、ナンディ＝ンダイトワ・ナミビア副首相兼国際関係・協力大臣と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（ウ）　２０日、マドゥーロ大統領は、ナンディ＝ンダイトワ・ナミビア副首相兼国際関係・協力大臣と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（エ）　２０日、ベネズエラ・アフリカ友好議連は、ピメンテル・アフリカ担当外務次官の参加の下、ナンディ＝ンダイトワ・ナミビア副首相兼国際関係・協力大臣と会合を実施した。

（５）　その他

（ア）　１日、ファリア外相は、モルチャン駐ベネズエラ・ベラルーシ大使と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（イ）　２日、ファリア外相は、クラレムス・ラテンアメリカ経済機構 (SELA) 常任理事と、地域経済協力メカニズムの強化に関し、会談を実施した。

（ウ）　２日、PDVSA と米シェブロンは、エル・アイサミ経済担当副大統領兼石油大臣の立会いの下、契約を締結した。エル・アイサミ大臣は、国外からの投資を歓迎する旨表明した。

（エ）　５日、Kenan Zaher Al Deen 新駐ベネズエラ・シリア大使は、マドゥーロ大統領に、信任状を捧呈した。

（オ）　５日、ファリア外相は、中南米諸国グループ (GRULAC) 構成国の大使・代表団と、地域協力関係の強化に関し、第２回会合を実施した。

（カ）　５日、エル・アイサミ経済担当副大統領兼石油大臣は、OPEC プラス第３４回閣僚会合における、２０２３年の石油生産水準の維持決定に関し、支持を表明した。

（キ）　５日から９日にかけてロシアのカザンで世界遺産条約５０周年を記念する国際フォーラムが開催され、ロルカ・エコ社会主義大臣をヘッドとする代表団が出席した。

（ク）　６日、ジョレンティ米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA－TCP）事務局長は、グテーレス国連事務総長と会談を実施し、コロンビアの和平交渉におけるキューバ及びベネズエラの貢献、並びにベネズエラの与野党対話について説明を行った。

（ケ）　６日、マドゥーロ大統領は、ドミニカ国労働党の選挙勝利に関し、外務省コミュニケを通じて祝辞を表明した。

（コ）　７日、マドゥーロ大統領は、フェルナンデス亜副大統領に対し６年間の禁固刑と公職追放が言い渡された

ことに関し、メディア及び政治による迫害への拒絶を発信した。

（サ）　７日、モンテロ体制側国会第二副議長は、グアイド氏を大統領と認定してきたドイツとの間に、ベネズエラ・ドイツ友好議連が発足した旨発表した。

（シ）　８日に開催された「司令官チャベスへの忠誠と愛の日」式典においてマドゥーロ大統領は、カスティージョ・ペルー政権に対するクーデターに関し、ペルー国民をオリガルキー勢力の攻撃の被害者と評する発言を行った。

（ス）　９日、トレス新駐バチカン・ベネズエラ大使は、フランシスコ教皇に信任状を捧呈した。

（セ）　１２日、マドゥーロ大統領は、コロンビア政府と民族解放軍（ELN）の和平交渉第１ラウンドの合意に関し祝意表明を行った他、来年１月１日よりコロンビアとの国境を完全再開する旨発表した。

（ソ）　１３日、ベネズエラ政府は、アルバ、ボネール、キュラソーとベネズエラ間の段階的な国境再開に向け、オランダ政府と技術的協議を開始することに合意した旨発表した。

（タ）　１４日、ファリア外相は、Sergey Fedorovich Aleynik 新ベラルーシ外相と電話会談を実施し、任命に祝意を表するとともに、二国間関係の強化を確認した。

（チ）　１５日、エル・アイサミ経済担当副大統領兼石油大臣は、ベネズエラが第５２回ラテンアメリカ・エネルギー機構（OLADE）閣僚会議の臨時議長国を務める旨、発表した。

（ツ）　１６日、ベネズエラ政府は、米国上院が「ベネズエラの非合法権威主義体制との取引貸借禁止法（ボリバル法）」を全会一致で可決させたことに対し、外務省コミュニケを通じて拒絶を表明した。

（テ）　１６日、ホルヘ・ロドリゲス国会議長及びカミラ・ファブリ氏は、アレックス・サーブ特使の釈放を求める集会に参加した。

（ト）　１６日から１７日にかけて、ベネズエラ及びコロンビアの協力再開のため、第一回官民合同会合が開催された。１６日、ベラスケス運輸大臣は、レジェス・コロンビア運輸大臣と、両国の陸上交通の段階的再開計画に署名を行った。

（ナ）　２１日、ファリア外相は、ソルタニ駐ベネズエラ・イラン大使と会談を実施し、現行の合意に関する年間評価と二国間アジェンダの確認を行った。

（ニ）　２２日、マドゥーロ大統領は、Manuel Vicente Vadell 駐伯ベネズエラ大使の任命を発表した。

（ヌ）　２２日、ファリア外相は、ロドリゲス駐ベネズエラ・キューバ大使と、２０２３年の共同作業アジェンダに関し、会談を実施した。

（ネ）　２４日、ベネズエラ政府は、米国フロリダ南部地区連邦地方裁判所がアレックス・サーブ被告の外交特権を否定する判決を下したことに対し、外務省コミュニケを通じて拒絶を表明した。

（ノ）　２６日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Ri Sung Gil 駐ベネズエラ・北朝鮮大使と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（ハ）　２７日、スペイン政府は、サントス駐ベネズエラ・スペイン臨時代理大使を大使に任命した。

（ヒ）　２７日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、１月１日のコロンビア国境再開に向けた詳細を検討するため、ビデオ会議を実施した。

（フ）　３１日、マドゥーロ大統領は、前ローマ教皇ベネディクト１６世の逝去に関し、外務省コミュニケを通じて弔意を発表した。

（ヘ）　３１日、マドゥーロ大統領に、プーチン露大統領から新年の挨拶が宛てられた。